



九条の会・いすみ市

会 報 第 28号
発 行 日 2022年 6月18日
発 行 九条の会・いすみ市
運 営 委 員 会

国会が終了し参院選挙の争点が明確になりました

岸田政権は9条の改憲をたくらみ、アメリカとの約束の軍事力増強と軍事費増を国内的に決める手立てを次々と進めています。

武力で平和は守れません。改憲を許さず平和を守ることこそ選挙の最大の争点です。

以下の文は全国署名活動をするこの会としての呼びかけ文です。
この呼びかけ文を活用して様々な可能性を追求して多くの人に呼びかけましょう。

2022年6月18日

九条の会・いすみ市 運営委員会

今こそ語ろう憲法九条・国連憲章を

九条の会・いすみ市

日本国憲法は、いま、大きな試練にさらされています。
ヒロシマ・ナガサキの原爆にいたる残虐な兵器によって、五千万を越える人命を奪った第二次世界大戦。この戦争から、世界の市民は、国際紛争の解決のためであっても、武力を使うことを選択肢にすべきではないという教訓を導きだしました。

侵略戦争をしつづけることで、この戦争に多大な責任を負った日本は、戦争放棄と戦力を持たないことを規定した九条を含む憲法を制定し、こうした世界の市民の意思を実現しようと決しました。 九条の会アピールより

「九条の会」は平和を求める世界の市民と手をつなぐために
憲法九条を激動する世界に輝かせたいと考えています。

戦争体験者、被爆者は自分の無残な状況を語り継ぎ、「絶対に戦争はしてはいけない」との世論を強め、「核兵器禁止条約」へと結実させてきました。

戦争、核兵器の存在は人間の存在を否定し苦しめてきました。

今、私たちは勝ち得てきた人間性を確保する手段としての憲法を護らなければなりません。
ロシアの侵略を許さない声をあげよう。

憲法の改悪、軍事力強化・軍事費増で国の形・私たちの生活・文化は大きく変わってしまいます。

コロナ・災害対応へ政府の取り組みの遅れは、必要な人と施設などの体制を予算をつけず削減し、準備態勢をとっていなかったことです。憲法のせいではありません。

憲法を活かした政治をすればもっと良い生活ができます。

戦争反対の署名活動をしています

内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長宛 **請願事項** は2点です。

- 1、自民党が提唱する憲法9条に自衛隊を書き込むことなどの改憲4項目に反対します。
- 2、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生などの向上を実現する政治を求めます。

改憲項目（加入）は現在の憲法の根幹を破壊するものです。

改憲四項目（加入する）

- ① 憲法違反といわれた集団的自衛権容認の自衛隊
- ② 緊急事態条項（政令への委任）
- ③ 合区 選挙区割り・地方自治広域化
- ④ 教育 国の役割を担うために整備

現憲法の規定

- ① 戦争放棄し軍隊を否定
- ② 三権分立・権力の集中を否定
- ③ 国民主権と選挙の平等を保障
- ④ 教育の自由とその権利を保障

改憲項目はその部分だけでなく憲法全体構造を規定することになる。

2022年 夏

署名は呼びかけ団体又は私たちの会まで送付ください。



参考文献・【憲法指南】井上ひさし

- * 3月・4月 [第一部・憲法と生きて] 第一章・憲法を読む
- * 5月 第二章・九条を語る（世界の中村哲さんのこと）
- * 6月 [第二部・二つの憲法—大日本帝国憲法と日本国憲法]
- (憲法の誕生) (大日本帝国憲法ができるまで)
- * 7月 (戦争から敗戦まで) (日本国憲法ができるまで)

中国・北朝鮮の脅威、ロシアのウクライナ侵攻などを口実に、憲法9条に自衛隊を書き込み平和主義の精神を空文化し、戦争できる国にしようとする動きが強まっています。

「九条の会・いすみ市」では毎月第3土曜日又は第4土曜日に定期的に学習会を続けています。

天皇主権の明治憲法から、素晴らしい平和憲法にどのような歴史を経て変わってきたのか、学習することはとても大切です。

ひょっこりひょうたん島で有名な作家、故井上ひさしの「憲法指南」をテキストに、ただいま学習中です。

『ペンは剣より強し』福沢諭吉

『教育とは共に未来を語ること、学ぶとは胸に誠を刻むこと』抵抗詩人・ルイ・アラゴン（フランス）

平和のための理論武装をしませんか。
憲法について、平和について、一緒に学びましょう。

和久 伸一

学習会の予定



場 所 大原文化センター

- ・憲法条文など資料はお持ちください
- ・九条の会ブックレット等使用します
- ・課題など提案歓迎
- ・資料代 100円

開催日 以下の土曜日

- 6月25日 7月23日
- 8月20日 9月24日
- 10月22日

時 間

AM10:00～12:00

厳しいコロナ禍の中、短歌を作り始めていた事が楽しさにつながりました。過日NHK全国短歌大会での題詠が「大」の文字と発表され、TVの前でそれを知った夫は即「俺なら大連だな」と。そこで私は詠みました。

つま
いっくん

夫なれば大は大連一言の重きを託し令和に生きる

そして今年の三月戦火の悲しみを新聞に投稿しました。

何度でも抱き合う別れウクライナ祈ることしか出来ないでいる

これでもかと続くロシアへの怒りを又詠んでみました。

我祖国花は何処へを繰り返すこの美しき地球を借りて

地球は飽く迄も美しく
人は人の字を生き人に住む

次世代への良きバトンタッチを願い、今の気持ちを書いてみました。

唯山



*岸田政権後 現在までの署名183名

ウクライナ募金 ユニセフヘカンパ5, 363円



戦争反対のスタンディングを、連日全国何処かで誰かがやっている。

ベトナム戦争の頃は若かった人も、まだ幼い子供だった人も、皆仲間となって、声をあげている。思いは一つ、戦争なんかするな！NO WAR！

編集後記 Rumi Kawashima